

オロロン・スノパラプロジェクト 取組継続に向け意見交 会合開き成果や課題を確

【留萌発】オロロン・スノパラアイス・プロジェクト(燕昌克代表)は十五日、留萌合同庁舎で本年度第四回プロジェクト会議を開催した。二月に開催した「オロロン・スノパラアイス2018」の事業報告や決算報告を実施。来年度



多戸身、意見をいって意見を交わした。留萌振興局や留萌建設協会などで構成する同組織は、留萌の厳冬期を楽しく過ごせるよう、毎年二月に積雪寒冷地を活かした催し「オロロン・スノパラアイス」を開催している。本

会議には、構成団体の代表者が参加した。あいさつに立った燕代表は、留萌を担う責任世代による共同作業と取組の重要性を説明し、「未来を担う子どもたちのためにきたんのない意見を」と呼びかけた。続いて、事業実施状況・報告や本年度の事業決算報告、監査報告を実施。そのあと、本年度の事業成果や課題等について意見を交わした。

意見交換では、本年度で七回目となっていることから「事業報告の開催に向けて」

水飲み場の完成披露も
札幌市水道局は十六日、水道局平岸庁舎で平岸配水池耐震化事業完了記念式典を開催した。施工業者十七社が出席。式典では感謝状授与のほか、市民に親しま

17社が高い技術を結集 水飲み場の完成披露も

札幌市水道局

れる施設として設置した水飲み場「ソラノイド」の完成披露も行われた。昭和四十六年七月に通水を開始した平岸配水池は、同市最大の基幹配水池。耐震性能が不足していたため、平成二十二年度から耐震改修や応急給水施設新設の工事を進めてきた。事業は施設機能を維持しながら耐震補強を行う必要があったため、四池のうち一池ずつ休止しながら施工する工程となった。敷地内には、併設するテニスコート二十面を整備し

たほか
モニユ
R用水
ド」を
完了に
成披露
り行う
式典
佳恵水
藤組工
田地崎

札幌工科専門学校が第36回卒業式

学校法人常松学園(常松哲理 理事長)札幌工科専門学校(三上敬司校長)は十六日、札幌市内のホテルユキタで第三十六回卒業証書授与式を挙行了。公務員試験合格者延べ十八人をはじめ、多くの資格を取得した卒業生五十八人の晴れの門出を祝った。卒業後は、ほぼ全員が官公庁や建設・コンサル会社で技術者として活躍する。

道内唯一の土木系専門学校である同校は、測量士、土木施工管理技士など多くの資格を卒業と同時にまたは有利な条件で取得できる。

また、技術者不足に悩む建設業界に対し、企業が社員を同校に委託生として入学させると、学費の一部を免除する「企業委



三上校長が一人ひとりに卒業証書を手渡した

託制度」も実施し、積極的な人材育成に尽力している。本年度の卒業生は、環境土木工学科十七人、造園緑地科七人、測量情報科十九人、環境土木・造園施工管理科十五人の計五十八人。

多くの来賓や保護者、企業関係者が見守る中、三上校長が卒業証書を授与。また、各種資格の認定証や、日本測量協会会長賞などの賞状を授与した。

三上校長が式辞を述べ、「本年度も多くの資格を取得し、公

技術者の卵 晴れの門出 公務員など資格取得多数

務員試験にも多数が合格。就職もほぼ全員が希望したところに就職できた」と、生徒たちの頑張りをたたえた上で、「テレビのCMで、学んだものは誰にも奪われない」というのが、まさに一生懸命努力した過程が財産である。努力は必ず実を結ぶ」と、はなむけの言葉を送った。

続いて来賓祝辞。開発局の和泉晶裕局長、国土地理院北海道

地方測量部の乙井康成部長、北海道森林管理局の新島俊哉局長、道建設部の北谷啓幸技監、同校同窓会七エエ会の古城学会長が登壇した。

このうち和泉局長は「現在開発局では皆さんの先輩五十五人が活躍しており、四月からは新たに三人が入局していただけた」とし、先輩とともに活躍していただきたいと期待した。

また、「皆さんは多くの専門的な知識を身に付けられた。これから、その知識の上に経験

を積み重ねてほしい。将来は、土木現場のプロジェクトマネージャーとして活躍されることを期待している。ぜひ皆さんの技術を社会に役立ててほしい」とエールを送った。

最後に、卒業生を代表し造園緑地科の高松希さんがあいさつ。「辛いこともあったが、とても有意義な学生生活だった。これからは札幌工科専門学校の卒業生としての誇りをもち、技術者として社会に貢献できるように頑張っていきたい」と力強く決意を述べた。

交通安全事業に込 日本マーキング

日本マーキング(株)

日本マーキング(株)札幌中谷一成社長は十六日、札幌市生涯学習センター「ちえのあ」で三十年安全大会を開き、一年間の作業冒頭の



工事開始を前に安全管理徹底を確認した

管路の水圧が下が
り、自動的に緊急
作動。貯水槽内
設置場所は10カ所で、
場所から半径1キロ以内の
と芝生広場は75×45程度
の広さとする。南側の
角にはパークPFIによる
カフェなど収益施設や
駐車場、トイレを設ける。
北側の自転車道予定地
付近には、ウッドチップ
舗装の散策路を幅員1・
5メートルで整備。落ち葉など
の堆肥場も配置する。こ
のほか、子どもの外遊び
を促すプレーパーク活動
やバーベキューが楽しめる
広場、中央部にある望
みの丘に向かう桜並木の
スロープを整備する。
管理運営は地域住民や
商店街、市民団体などが
携わる仕組みをつくる。
パークPFIの導入に
向けては、民間事業者に
対するマーケットサウン
ディングを予定し、可能
性を検討する。

施設など検討 と基本計画案示す

備と基本計画案示す

事業費8億6000万円を
準備した。周
の黄金4号線と
通、恵庭北25号
学園通、恵庭北
園まれ、現在の
決定面積は4珍
いる。
運動、遊び場と
に親しまれる一
破損や老朽化
茂による見通し
薄暗さが課題
に策定した恵庭
設つくり基本
運営計画で、
の観光拠点の
最大規模の基幹配水池。
耐震性能不足だった配水池
池全4池を稼働させながら、
順次耐震化を進め
た。

状贈る

出住恵水道事業
謝状が贈られ
岸5条19丁目
配水池は、市内
に對し、各社
が贈られた



H30.3.19
道建設新聞社

8.6haを5ゾーンに分割

恵庭市経済部花と緑・
観光課の担当者は、16日
の市議会経済建設常任委
員会で、花の拠点の基本
設計概要とイメージパー
スを示した。道と川の駅
「花ロードえにわ」と後
背地の敷地8・6畝をテ
ートエリア、多目的エリ
ア、ガーデンエリアと
II、緑と散策エリア、セ
ンターハウス周辺エリア
の5ゾーンに分け、花の
まちを発信・体感できる
空間とする。

耐震化に合わせて配水池
池地上部のテニスパーク
を再整備。20面の新たな
コート表面部は国際基準
のデコトップを採用し、
中心部には水道事業PR
用の水飲み場「ソーライ
ド」を設置した。最終工
事のこれら上面整備が月
内で完了する予定だ。
水道局平岸庁舎で開か
れた完了記念式典には、
施工に携わった土木・建
築10社、電気6社、機械
1社の代表者が出席。感
謝状を受け取った後、代
表して岩田地崎建設の長
利秀則専務執行役員が
「8年にわたる工事の中

58人の技術者巣立つ

札幌工科専門学校 卒業証書授与式

学校法人 常松学園札幌工科専門
学校は16日、市内のホテルユキ
タで第36回卒業証書授
与式を行
い、4科計
58人の新た
な技術者を
送り出した。
卒業生は
2年制の環境土木工学科
17人と造園緑地科7人、
1年制の測量情報科19人

別市の市住新築団地でD棟建て替えが控えている。
▽恵庭市が新工業団地造成着手へ(2日)
恵庭市は戸磯地区の約11畝を対象に、19年度から新工業団地の造成に着手する方針を明らかにした。事業費は12億13億

18年度は要求水準書作成に入る。
▽石狩市南花川団地の整備方針見直し(7日)
石狩市は、現地改築と一部移転を予定していた公住南花川団地の整備方針を見直し、長寿命化修繕を含めて維持更新の方

十分な幅員を確保する。森と散策エリアには、築山のような展望拠点を配置。恵庭岳や花の拠点全体を見渡せるようにする。車いすのまま土いじりができるユニバーサルガーデンも整備する。
ガーデンエリアは市民参加のガーデンとする。恵庭かわまちづくり事業と連動し、水辺と花がつ

各地の建設業、測量設計業へ就職が決まっている。三上敬司校長が一人一人に卒業証書を手渡し、乙井康成国土地理院北海道地方測量部長が測量士、測量士補の合格者に登録証を伝達。式辞で三上校長は、周囲への感謝と今後の努力を忘れないよう促し、激励の言葉を贈った

影響などを含めて更新計画の見直しに着手する方針を示した。
▽札幌市測量業務の総合評価拡大(12日)
札幌市財政局は4月1日以降公告分から、競争が激しく最低制限価格によるくじ引き落札が全

29人参加し 献血協力奉仕

南区南区除雪の
中定ほか9社、札幌市の南区南地区道路維持除雪を担う中定ほか9社共同(窪田憲一除雪センター長)は15日、社会貢献活動の一環で献血(おん)を支援した。

工事費230億円を試算

新MICE 調査・設計に9億円

札幌市は、札幌パークホテルの敷地内に計画し、料で旅行者などを宿泊させる。市が民泊総合窓口を開

出が始まった、住宅に有

苦情相談については、

件は実地確認する方針だ。老人福祉法をはじめ社会福祉各法に設置根拠を持たない類似施設の現状などを確認するため調査した。

それによると、法的位置守り(おん)を支援した。

札幌市は、札幌パークホテルの敷地内に計画し、料で旅行者などを宿泊させる。市が民泊総合窓口を開

出が始まった、住宅に有

苦情相談については、

件は実地確認する方針だ。老人福祉法をはじめ社会福祉各法に設置根拠を持たない類似施設の現状などを確認するため調査した。

それによると、法的位置守り(おん)を支援した。